

中日友好協会代表団が来日

唐家璇会長が友好7団体会長と会見

国交 45 周年、友好条約 40 周年 関係改善に意欲

唐家璇会長(元国務委員)を団長とする中日友好協会代表団が9月25日から29日まで来日し、東京都と長野県を訪れた。26日夜には都内のホテルで丹羽宇一郎協会会長ら日中友好7団体代表と会見した。

代表団 11 人は(公社)日中友好協会が受け入れた。会見には、丹羽会長、河野洋平・日本国際貿易促進協会会長、黒井千次・日中文化交流協会会長、高村正彦・日中友好議員連盟会長、野田毅・日中協会会長ら友好7団体の代表ら 18 人が出席。協会からは橋本逸男副会長、岡崎温理事長も出席し、岡崎理事長が司会を務めた。中国側は程永華大使、汪婉参事官ら駐日中国大使館員を含む 19 人が出席した。会見後には歓迎夕食会が催された。



友好7団体との会見の様相

7団体を代表して丹羽会長があいさつし、「大使時代を含め、唐家璇会長にはひとかたならないお世話を受けた」と感謝の気持ちを伝えた。日中関係については「両政府が交わした4つの政治文書の精神を遵守し、われわれも努力すべきだ」と述べ、国交正常化45周年を交流事業で盛り上げたい意向を伝えた。

一方、唐会長は「私個人の成長は友好7団体の諸先輩の教えがあったからだ」と謝意を述べ、初めて来日した頃の交流を回顧した。さらに「私の(友好の)信念は変わらない」と強調し、国交正常化45周年と平和友好条約40周年は関係改善の大きな好機だと指摘。「チャンスを逃せば関係改善はさらに時間を要する」と述べた。最後に唐会長は「私には自信がある。『今度こそ』という心持ちだ」と意欲をのぞかせた。

唐会長は滞在中、都内で岸田文雄外相ら政界関係者と会見したほか、日中関係がテーマの会合で講演した。また長野県では、阿部守一知事と会見。長野県日中友好協会主催の座談会にも出席した。



丹羽会長と握手する唐家璇会長（右）

長野県を訪問し阿部知事と懇談 「中日友好を実践してくれた県」

県日中会員と“日中談義”で交流も

唐家璇会長一行は9月28日、長野県庁に阿部守一知事を訪ね懇談した。程永華大使ら駐日中国大使館員数人も同行。長野県日中友好協会（高波謙二会長）が受け入れ、日程調整などを行った。

懇談で唐会長は「長野県は官民一体で中日友好関係の新しいイノベーションを起こしてくれた」と述べ、中国との長きにわたる交流を高く評価。長野県を訪問した理由については「中日友好を官民を挙げて実践してきた県であり、ぜひ訪れ知事をはじめ県民の皆さんに感謝の意を表したいと思った」と述べた。かつて中国大使館に勤務していた頃に何度も長野を訪れたことも紹介した。

また、現在長野県が、2020年東京五輪・パラリンピックに出場する中国選手を受け



長野県日中主催の「唐家璇会長を囲む日中友好座談会」で発言する唐会長。会員との交流を楽しんだ

入れ交流する「ホストタウン」構想の準備を官民一体で進めていることについて唐会長は、「中国の関係部門に伝える」と述べ、協力の姿勢を示した。

知事との懇談に先立っては、長野県日中主催の「日中友好懇談会」が開かれ、唐会長は協会員と「日中談義」に花を咲かせた。テーマは福祉から政治、経済など有意義な議論が展開され、協会員との交流を楽しむ唐会長のうれしそうな表情が見られた。夜は長野市内のホテル国際 21 で盛大な歓迎会が開かれた。

翌朝は長野市内の県議会議員会館前の芝生広場で記念植樹が行われ、県産のシダレザクラが植えられた。唐会長、程大使、阿部知事、高波会長の4人がスコップを握り、土をかけた。シダレザクラは寿命が長いと、長野県と中国との末長い交流を願って選ばれた。



シダレザクラの記念植樹の様子。左から程大使、唐会長、阿部知事、高波会長

中日友好協会代表団メンバー

- 唐家璇 中日友好協会会長、元国務委員
- 袁敏道 中日友好協会秘書長
- 楊 宇 外交部アジア司参事官
- 竇忠禱 唐家璇会長秘書
- 程海波 中日友好協会副秘書長
- 陳 偉 中国人民対外友好協会弁公庁処長
- 張孝萍 中日友好協会政治交流部部長
- 張沛霖 外交部アジア司北東アジア処副処長
- 高 思 外交部アジア司北東アジア処幹部
- 鄭李旦 中日友好協会政治交流部幹部、通訳
- 崔宗輝 唐家璇会長警護官